



児童会・応援リーダーの真剣さが「主体性を育てる」

見事な運動会の結団式でした。3月以来、半年ぶりに全校で集まりました。時間までに、まっすぐ並んで、静かに待つ、体が動かない、顔をあげて話を聞く、全校が同じ目標に向かって行動するすばらしさを久しぶりに感じうれしくなりました。集合前の学級では、結団式へ向かう姿勢を指導する声が聞こえてきました。事前の指導を理解できているからこの姿となったと思います。

児童会・応援リーダーが真剣でした。全校が集まった時、団全員が集まったの練習になったとき、何をどのように行うのか、何をしておくことが必要なのかと考え結団式を迎えました。児童会執行部、応援リーダーの姿が全校に広がり、団員の顔つきも変わり、この結団式となりました。

学校では、運動会の取組を通して、ねらいや願いに向けて、どうするとよいのか、何が必要かなどを「自分で考え、判断し、行動する」ことを意図的に仕組むことで主体性を育てていきます。応援披露のみならず、演技や競技などの練習、係活動、そして日常生活からも指導するチャンスを見つけ指導援助しています。

○リレーの練習で待っている児童が応援に夢中なため立ち上がっていたとき、「座って」と声を出す児童がい

ます。なぜ座って待つのかに気づき座ります。考えて声かけをし、約束を守る姿があります。

○「□□さん、手がまっすぐ伸びているね。」と個人名を挙げてみんなに聞こえるように褒め、動きの見本を示すように指導しています。他の子の動きも変わってきます。

○・・・

動きをよくしようとするとき、全体に指導する場合もあ

れば、リーダーに指導してリーダーから全体に話すこともあります。リーダーの意識を高めるための指導をしています。児童の進んで動く姿も多くあります。

さらにこんな児童も多く、運動会をチャンスとする姿に感心しています。

*いつもはやや集中力に欠けるけど、練習には集中して取り組んでいる子・・・

*いつもは仲間へ注意はしないけど、練習では大きな声で注意をしている子・・・

*走ることが苦手だけど、いつも必死に走っている子・・・

*・・・

このように、児童が自分たちの姿に気づくことができるような指導・支援を行い、徐々に係やリーダーが意識したり、児童が自ら考えて行動したりするようになります。主体性を育てるチャンスはいっぱいあります。この子をこうしたいという願いをもって、意図的な指導援助を考えて実践しています。運動会の取組を通して、自分のがんばっていることに気づき、自己を高めることができるように、認め、励まし、価値付けることにも心がけています。

運動会では「気づいて動く」児童の姿を見て褒めていただきたいと思います。応援よろしくをお願いします。



運動会スローガン；願いをもった児童会



思いを熱く語るリーダー達



意気込みあふれる大きな声のリーダー達

10月の行事予定

- 10月 2日(金) 運動会準備 6年
- 3日(土) 運動会
- 5日(月) 振替休業日
- 7日(水)～9日(金) 3年粘土教室
- 7日(水)・8日(木) 2年食育・1年食育
- 12日(月)～16日(金) 個別懇談
- 15日(木) 心電図1年・4年
- ~~22日(水) 社会見学2・3・6年 中止~~
- ~~23日(金) 社会見学4・5年 中止~~
- ~~25日(土) 誘遊フェスタ 中止~~
- 27日(火) 5年血液検査
- 28日(水) 5年根の上研修 4年食育
- 30日(金) ワックスがけ
- ~~31日(土) 授業参観 緊急時帰宅訓練 延期~~

11月の行事予定

- 11月 3日(火) 文化の日^祝
- ~~5日(木) 社会見学1年 中止~~
- 13日(金) 6年修学旅行
- 23日(月) 勤労感謝の日^祝

行事予定については、現時点での予定となります。新型コロナウイルス感染拡大の今後の状況を見ながら、延期、中止、もしくは形を変えての実施となることがありますので、ご了承ください。どうかよろしくお願いたします。

運動会に向けて頑張った9月



10月3日(土)の運動会を目指し、天候に左右され、思うような練習ができないところもありましたが、精一杯練習を重ねてきました。「新しい生活様式」の中、練習の時も、互いの間隔をとったり、お互いの距離が近い時にはマスクをつけたりと、児童たちもよく考えて行動しながら練習をしてきました。運動会当日は、練習の成果を発揮してほしいと願っています。

～うれしい話～

子どもたちが運動会の練習を頑張っている中、地域の方からうれしい話を聞きました。「会社に出勤する際、長島小の子どもたちがいつも大きな声であいさつをしてくれます。1日の活力になります。」「横断歩道で停車すると中学年の児童がお辞儀をして、最後に小さな低学年の児童がお辞儀をしてくれました。うれしくなりました。」学校でも子どもたちは自分から挨拶をしてくれることが増えました。こんな姿からも子どもたちの成長を感じています。